

アイススケートペアがロストバゲージでスケート靴が届かず全日本選手権を欠場するという事が有ったが、私もロストバゲージによるトラブルを少なからず経験している。

その出張は、成田を発ちシカゴ経由でインディアナ州サウスベント市に飛び、到着次第 I/N Tek 社にて誤作の説明と対策打合せを行い、翌日早朝に出発帰国するスケジュールだった。

12時間のJAL機フライトでシカゴ空港に着いた。ターミナル5で入国審査を行い、ターミナル間移動のモノレールでターミナル1に移動し、サウスベント行きフライトへ乗継ぐ為にUA航空会社のカウンターでチェックインし荷物を預けた。スムーズに乗り継げたと安堵して待合室のベンチにどっかりと腰を落した。



出発20分前。そろそろ搭乗しても良い時間だが、搭乗口にその気配が全く無い。

出発10分前。搭乗口に人が並び始めた。「ようやくか！」私もその列に並んだ。搭乗口係員の女性が私のチケットを見て、「フライトが違う」と言った。

「それじゃ、サウスベント行きは、何時になるの？」と尋ねたら、「未だ！」とだけのそっけない返事。

出発時刻になった。又、出発時間を尋ねたが、またもや「未だ！」とそっけない返事。心配になってきた。最高に落ち着かなくなってきた。会議に遅れちゃうよ！

そもそも太平洋を越えた出張で、着いて直ぐ会議なんていうのはスケジュールリングミス？

予定時刻を20分も過ぎた。もう居ても立ってもおれず、気が引けるが搭乗口係員に再々度「何時になるんだ？」と聞いた。そしたら「分からない」という答えが返って来た。「何故？」と聞いたら「私は時間管理している訳ではないから知らない」だって！

「調べたら良いだろう！ 貴方の職種など聞いていない！」と思わず怒鳴りたくなってきた。酷い対応だ。その言い草が気に食わない！

会議まで、時間が無い！ どうしよう！ もう出発予定時刻を30分も過ぎた。いつの間にか搭乗口の係員は一人しか居なくなっていた。もう、怒り半分に「何時になったら出るんだ！」と聞いたら、係員は面倒くさそうに掲示板を指差した。

そこにはいつの間にか、“CNCLD”との表示が出ていた。「ん？ “CNCLD”って何なんだ？」

”Canceled“ の略語か?? 「Canceled?」と尋ねたら、「そうだ」と平然と答えた。

散々待たせた揚句何のアナウンスもしないでキャンセルするなんてひどい！ でも、他のお客が居なくなっていた。怒っているのは僕だけらしい。アメリカでは、こんな事は日常茶飯事らしいが、その対応がひどい！

もう、怒り心頭！ 思わず叫んだ！ 「最も早い、サウスベント行きのフライトを予約しろ」その剣幕に恐れをなしたのか、さっきの素っ気無い係員が、AA 航空会社のフライトを見つけ、予約してくれた。

でもそのフライトにも時間が無い！ 急がなくっちゃ！ それが又、問題を引き起こす元凶になった。

急いでモノレールに乗りターミナル3の AA 航空会社の搭乗口にたどり着き、チェックインしようとした。第1の問題発覚！ 焦っていて、UAで航空券にエンドース(裏書)をしてもらうのを忘れていた！ もう、時間が無い！ 「I'll be back soon！ キャンセルしないで待っていて！」 と悲痛な叫びを残して、UAのカウンターに戻る為に脱兎の如く？ 走った！

再度モノレールに乗りターミナル5に向かった。いやにのろく感じられた！ 止まっているんじゃないかとさえ思えた！ 時計を引切り無しに見ずにはおれなかった！

そして裏書を貰いターミナル3に戻ってきた。もう、全身汗だくだった。待っていてくれた！ その AA 航空会社には、もう感謝！ 感謝！ どのかの航空会社と大違いだ！



第2の問題発覚！ ところで、UAでチェックインした時に預けた荷物は何処にあるのか？ その飛行機はキャンセルになったのだから、荷物はシカゴ空港に残っているの？ 打合せ資料は今、何処に？ でも、そんな事は言っておれない！ 時間が無い！ 先ずは搭乗するしかない！ サウスベント空港で荷物を受け取れなかったら空手で会議に臨むしかない！ そして、そしてI/N Tek 社で会議が終わってから、電話で荷物を探すしかないと腹を決めて、飛行機に乗り込んだ。だが、落ち着かない！ 胃の中にズッシリと鉛の塊が入っている様だ。

サウスベント空港到着後、I/N Tek 社に急行したが、2時間遅れての打合せ出席となった。他のメンバーはフライトがキャンセルになった事を承知していて、待っていてくれたので会議には参加出来た。

胃を鷲掴みされるような厳しい会議だったが、何とかしのいだ。

会議終了後、荷物の無い手ぶらでホテルに入った。当然、着替えその他、一切無い！

部屋に入るなり、部屋備え付けの電話帳を持って電話に飛びついた！ シカゴ空港のUAの荷物取扱所に電話し、チェックインした荷物は何処に有るのか、問い合わせた。

答えは、「分からない！」 だった。もう、頭に来た。「どうなってるんだ！」

サウスベント空港のUA荷物取扱所にも電話した。やはり、無かった！ 寝ずに方々の場所に電話を掛けまくった！ もう、時計は既に朝の4時を廻った！ あと3時間もしたら帰国為に飛行機に乗らなくてはならないのだ！ 荷物も無しに、着の身着のままです！

UAは、何処のオフィスに聞いても「知らぬ、存ぜぬ！」 ばかり！ 「もう、この航空会社の飛行機などは二度と乗らない！」 等と悪態をついても、問題は解決しない！

どう考えても、もう探す手段が見つからない、万事窮すだ！ 「あ～！ 神様、仏様、イエスキリスト様、アラーの神よ！ 助けて～！」 と祈りたい気分一杯だった！ だが無情にも、もうホテルを出発する時刻になってしまった！

已む無しと、スーツケースの事は諦め、着の身着のまま、とぼとぼとホテルを後にした。

帰路のフライトが決まっているから荷物が出なくても、もう出発するしかないのだ！ あ～無情！ タクシーで、サウスベント空港に向かった！ タベは一睡もしていないので頭がガンガンする位だが、スーツケースの事が心配でタクシーの中でも眠れなかった。

空港に着いた。完全にスーツケースの事を諦めはしたが、もう一度念の為に航空会社UAの荷物預り所に行ってみた。そして、スーツケースの特徴を言って、「僕のスーツケースが無いかどうか探して」と頼んだ。

係員は、裏手の事務所に消えた。程なくして、「これかい？」と言いながら持ってきたスーツケースを見て、僕は飛び上がった！ 正しく僕のスーツケースだよ～！！

地獄から天国に一気に駆け上った様な気持ち！ 感激して、何度もお礼を言った！ 最敬礼もした。もう完全に諦めていたのに出てきたのだから！

チェックインして、一息入れ落ち着いたら、今までの事が冷静に考えられるようになった。スーツケースが見つかった時は、感激して何度もつつい最敬礼をしてしまったが、「何故？」 タベは「無い！」と言ったんじゃない？

その時くれれば地獄の様な夜は無く、優雅にレストランで豪華な食事が（金がないから、そんな事は無理）出来たのに～！ 3日間も疲れた同じ服を着て、惨めな格好をしなくても良かったのに～！

重い思いして持ってきたスーツケースは、一度も開けられる事も無く、持って帰らなければならない。こんなものって有る～？ 等等、次から次と愚痴が出てきた。

頭に来た！ もう二度とこんな航空会社のフライトには乗らないと硬く誓って、サウスベント空港を発った。疲れた同じ服を着て！

出張紀行-4 シカゴ空港発 ロストバグゲージの巻 おわり